

第6章 資料編

1 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、現状の把握と課題の抽出に向け、障がい者の実態と、今後の日常生活や福祉サービスに対する利用意向などを把握するための「障がい福祉に関するアンケート調査」を実施しました。

また、計画の策定段階では、有識者や住民代表から構成される「日南市障害者施策推進協議会」において、アンケート調査、地域課題、今後における施策等の内容について検討を行いました。

(1) 日南市障害者施策推進協議会等開催内容

①日南市障害者施策推進協議会

第1回 令和元年6月12日	①辞令交付 ②計画の概要について ③計画の骨子案 ④策定スケジュールについて ⑤アンケート調査票案及び実施方法について
第2回 令和元年10月23日	①アンケート調査の結果報告
第3回 令和元年12月24日	①日南市障がい者計画（素案）について
第4回 令和2年2月5日	①日南市障がい者計画の最終確認について

②日南市障がい者計画策定庁内検討委員会

第1回 令和元年7月31日	①計画の概要について ②計画の骨子案 ③策定スケジュールについて ④アンケート調査票案及び実施方法について
第2回 令和元年10月31日	①アンケート調査の結果報告
第3回 令和元年12月18日	①日南市障がい者計画（素案）について

(2) 日南市障害者施策推進協議会委員名簿

No.	氏 名	役 職 名
1	廣田 満	日南市身体障害者福祉協会 会長
2	井川 哲男	日南地区手をつなぐ育成会 会長
3	池田 千代子	日南市障害者憩いの間運営協議会 事務局員
4	谷口 正純	社会福祉法人 つよし会 つよし学園 施設長
5	徳弘 雄一郎	地域活動支援センター「和み」 センター長
6	柿本 文孝	社会福祉法人 つよし会 そうだんサポートセンターなみ 管理者
7	河野 千春	社会福祉法人 サン・スマイル福祉会 事務長
8	徳村 哲功	にちなん障害者就業・生活支援センター センター長
9	原井 貴史	社会福祉法人善興会 障害者支援施設 北郷荘 施設長
10	北川 佳代子	障害者サービス ゆめや 就労支援員
11	阿部 俊允	日南市民生委員・児童委員協議会 障がい者（児）福祉部会長
12	柏田 壽	日南市ボランティア連絡協議会 事務局長
13	渡辺 裕一	日南市社会福祉協議会 事務局長
14	谷川 佳雅	宮崎県立日南くろしお支援学校 進路指導主事
15	和田 和代	日南公共職業安定所 所長
16	兒玉 洋一	宮崎県日南保健所 次長
17	倉元 保久	日南市教育委員会 教育部長
18	川俣 泰通	日南市福祉事務所長

2 用語解説

あ行

アクセシビリティ

アクセシビリティ：施設・設備、サービス、情報、制度等の利用しやすさのこと。

インクルーシブ教育

障害者権利条約第 24 条において、「インクルーシブ教育システム」(inclusive education system、署名時仮訳：包容する教育制度)とは、「人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み」とされています。

オストメイト

オストメイトとは人工肛門や人工膀胱を持つ人たちのこと。

か行

核家族化

夫婦とその未婚の子ども、夫婦のみ、父親又は母親とその未婚の子ども、のいずれかで構成される家族のこと。

学習障がい (LD)

基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものです。

権利擁護

自己の権利や援助のニーズを表明することが困難な障がいのある人等に代わって、援助者が代理としてその権利やニーズの獲得を行うこと。

広汎性発達障がい

社会性やコミュニケーション能力等の発達遅滞を特徴とする発達障がいのこと。

さ行

ジョブコーチ

障がい者の就労にあたり、障がい者や事業主等に対して、障がい者の職場適応に関するきめ細かな支援を行う援助者。

成年後見

知的障がい、精神障がい、認知症等によって判断能力が十分でない人を法的に支援する制度で、法定後見制度と任意後見制度がある。法定後見制度は、後見、保佐、補助の3種類があり、家庭裁判所が成年後見人、保佐人、補助人を選任し、任意後見制度は、本人に十分な判断能力があるうちに将来に備えて、本人が任意後見人を選任します。

た行

地域自立支援協議会

障がい者への支援体制の整備を図るため、関係機関、関係団体、障がい福祉サービス従事者等で構成する、地域の障がい福祉に関するネットワークの構築に中核的な役割を果たす協議の場。

注意欠陥・多動性障がい（ADHD）

多動、衝動性、注意力の問題の3領域を中心症状とする障がい。じっとしておらず常に動いている、授業中席に座っておれず立ち歩く、順番を待つことが苦手、集中力がなく注意が持続できない、気が散りやすい、忘れ物や物をなくすことが多い、指示などをすぐ忘れてしまう、などの特徴が見られます。

特別支援教育

「特別支援教育」とは、障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

は行

発達障がい

発達障害者支援法では、「発達障がい」を、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいその他これに類する脳機能の障がいであってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。」としています。なお、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい」は、「自閉症スペクトラム障がい」という新たな呼び名が使用され始めています。

福祉共育

多様な立場や領域の人や組織が連携して教育を行うこと。

ライフステージ

人の一生を少年期・青年期・壮年期・老年期などと分けた、それぞれの段階。

リハビリテーション

障がい者の身体的、精神的、社会的な適応能力回復のための技術的訓練プログラムにとどまらず、障がい者のライフステージ全ての段階において全人間的復権に寄与し、障がい者の自立と参加を目指す障がい者施策の理念。

療育

「肢体不自由児の父」といわれる高木憲次の造語であり、医療、訓練、教育、福祉などの現代の科学を総動員して障がいを克服し、その児童が持つ発達能力をできるだけ有効に育て上げ、自立に向かって育成すること。「療」は医療・治療を、「育」は保育あるいは養育を意味すると解されます。



日南市障がい者計画

発行年月 令和2年3月

日南市健康福祉部福祉課 障がい福祉係

〒887-8585 日南市中央通一丁目1番地1